



Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes 2.0

Web コンソール

Web コンソール

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes 2.0 Web コンソール

Web コンソール

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Web_console.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes の Web コンソール

目次

第1章 WEB コンソール	3
1.1. コンソールへのアクセス	3
1.1.1. OpenShift Container Platform Web コンソールからのアクセス	3
1.1.2. Red Hat OpenShift CLI からのアクセス	3
1.2. コンソールの可観測性	3
1.2.1. Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールコンポーネント	4
1.2.2. コンソールへのアクセス	4
1.2.3. Welcome ページ	5
1.2.4. 環境の詳細確認	5
1.2.4.1. 結果のフィルタリング	5
1.2.5. インフラストラクチャーの自動化	5
1.2.6. アプリケーションの管理	5
1.2.6.1. Pod の正常性表示	5
1.2.7. トポロジーページ	5
1.2.8. ガバナンスおよびリスクダッシュボード	6
1.3. コンソールでの検索	6
1.4. VISUAL WEB ターミナル	7
1.4.1. セッションの開始	8
1.4.2. サポート対象のコマンド一覧	8
1.4.3. Visual Web ターミナルでの検索	10
1.5. クラスターラベルの管理	11

第1章 WEB コンソール

Red Hat Advanced Cluster Management コンソールにアクセスする方法とコンソールのコンポーネントの使用方法を説明します。

- [コンソールへのアクセス](#)
- [コンソールの可観測性](#)
- [コンソールでの検索](#)
- [Visual Web ターミナルでの検索](#)
- [クラスターラベルの管理](#)

1.1. コンソールへのアクセス

Red Hat OpenShift Container Platform の Web コンソールから Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes のコンソールにアクセスできます。コンソールには、インストール後にターミナルからもアクセスできます。以下で、コンソールへのアクセス方法をすべて確認してください。

1.1.1. OpenShift Container Platform Web コンソールからのアクセス

- ヘッダーで **アプリケーションランチャー** をクリックし、**Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes** オプションを選択します。
- 左側のナビゲーションからコンソールにアクセスすることもできます。
 - **Networking > Routes** をクリックします。
 - **Project** メニューから、Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes がインストールされている namespace を選択します。
 - **multicloud-console** を検索して、**Location** コラムから URL をクリックします。

1.1.2. Red Hat OpenShift CLI からのアクセス

1. Red Hat OpenShift にログインし、Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes をインストールした後に以下のコマンドを実行してルートを検索します。ここでは、**<namespace-from-install>** を、当製品をインストールした namespace に置き換えます。

```
oc get routes -n <namespace-from-install>
```

1. **multicloud-console** 名と **Host/Port** コラムを探し出して、URL を取得します。

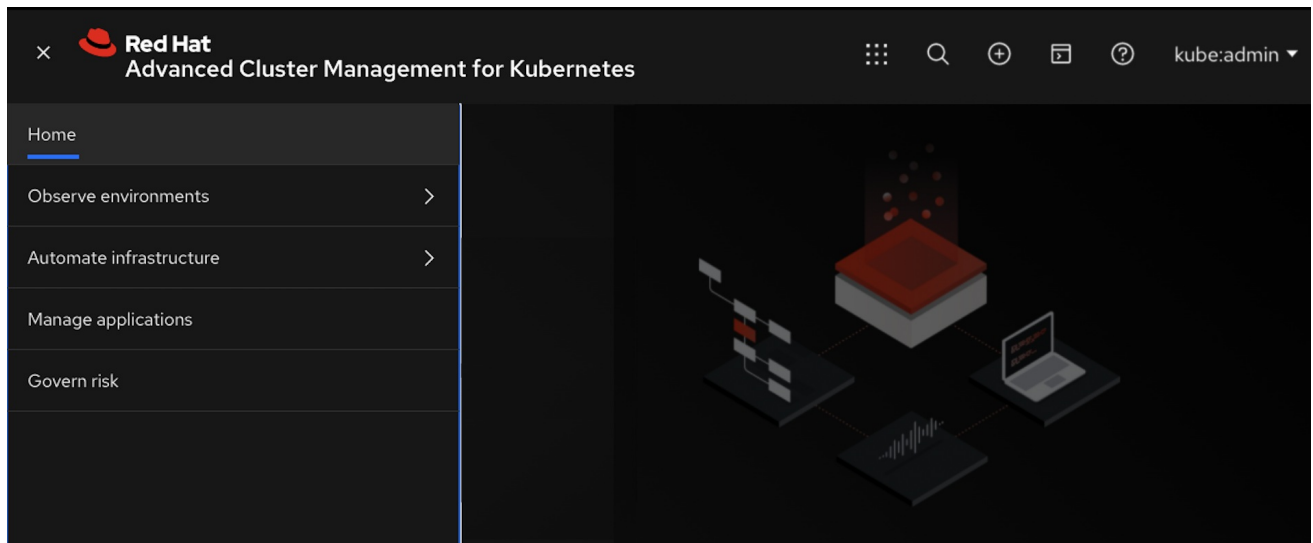
Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの詳細は、「[Web コンソール](#)」を参照してください。

1.2. コンソールの可観測性

コンソールの表示、管理、またはカスタマイズに使用可能なコンソールのコンポーネントについて説明します。

1.2.1. Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールコンポーネント

以下で Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールのナビゲーション についての画像を参照してください。このコンソールについては、各セクションで詳細を後述します。ナビゲーションに、主要な実稼働機能があることが分かります。



Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールコンポーネント:

- [コンソールへのアクセス](#)
- [Welcome ページ](#)
- [環境の詳細確認](#)
- [インフラストラクチャーの自動化](#)
- [アプリケーションの管理](#)
- [トポロジーページ](#)
- [ガバナンスおよびリスクダッシュボード](#)

検索の詳細は、「[コンソールでの検索](#)」を参照してください。

1.2.2. コンソールへのアクセス

- Red Hat OpenShift コンソールからのアクセス:
 - a. 左側のナビゲーションから、**Networking > Routes** をクリックします。
 - b. **Project** メニューから、Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes がインストールされている namespace を選択します。
 - c. **multicloud-console** を検索して、**Location** コラムから URL をクリックします。
- Red Hat OpenShift CLI からのコンソールへのアクセス:
 - a. OpenShift にログインし、以下のコマンドを実行してルートを検索します。**<namespace-from-install>** は Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes をインストールした namespace に置き換えます。

```
oc get routes -n <namespace-from-install>
```

- a. **multicloud-console** 名と **Host/Port** コラムを探し出して、URL を取得します。

1.2.3. Welcome ページ

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes の Welcome ページから、製品の詳細情報を取得でき、また **検索** や **リソースの作成** などのヘッダー機能にアクセスできます。**Create resource** を選択すると、YAML ファイルまたはデプロイメントの JSON ファイルを作成できます。ヘッダー から **Help (?)** アイコンをクリックして **About** ページやドキュメントを表示できます。**User** メニューから **Configure Client** ページにアクセスできます。さらに、ヘッダーから [Visual Web ターミナル](#) に アクセスできます。

1.2.4. 環境の詳細確認

以下のようなクラスター情報を概要ダッシュボードで表示できます。

- 全クラスターおよびプロバイダー別のクラスター、ノード、Pod 数
- クラスターのステータス
- クラスターのコンプライアンス
- Pod のステータス

ダッシュボードの多数の要素はクリックして、関連リソースの検索を表示できます。プロバイダーカードをクリックすると、単一プロバイダーからクラスターの情報が表示されます。リソース概要カードをクリックしてドラッグし、整理し直すことで、概要ダッシュボードのビューをカスタマイズできます。

1.2.4.1. 結果のフィルタリング

フィルタリング機能を使用して、ページの表示内容をカスタマイズできます。**Filter results** をクリックして、ページにどの情報を表示するかを指定します。

1.2.5. インフラストラクチャーの自動化

クラスターを作成するか、または既存クラスターをインポートします。必要に応じてクラスターをスケールアップまたはスケールダウンし、削除します。詳細は、「[Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes でのクラスターの管理](#)」を参照してください。

1.2.6. アプリケーションの管理

New application をクリックして **.yaml** ファイルを編集し、アプリケーションを作成します。**Resources** をクリックし、各アプリケーションの情報を表示します。アプリケーションリソースの詳細は、『[アプリケーションの管理](#)』を参照してください。

1.2.6.1. Pod の正常性表示

全クラスターの Pod の正常性を表示するには、Heatmap を展開します。

Show details をクリックしてマップを表示します。色分けされたボックスのサイズでは、クラスター上のノード数を表します。カーソルをボックスにかざすと、クラスターの応答時間が表示されます。

1.2.7. トポロジーページ

Topology ページでは、Weave Scope プローブからの情報を使用して、クラスター内の Kubernetes オブジェクトを表示します。ハブクラスターリソースを表示できます。マネージドクラスターを設定していくと、トポロジービューにさらにクラスターが表示されます。

ページのグラフィックを減らすには、クラスター、Namespaces、およびラベルでビューを絞り込むことができます。また、Kubernetes オブジェクトを表すアイコンを選択して、デザインを絞り込むこともできます。

Topology ページのタブに関する詳細を以下で説明します。

- **クラスター:** グラフィカル形式でクラスターネットワーク、オブジェクトネットワーク、およびセキュリティポリシーを監視できます。ハブクラスター、すべてのマネージドクラスターを表示し、セキュリティ違反を監視します。
- **ポリシー:** 検証を行うポリシー、ポリシーの配置、およびクラスターを表示します。選択したポリシーの違反をチェックします。

1.2.8. ガバナンスおよびリスクダッシュボード

ガバナンスおよびリスクダッシュボードで、ポリシーとポリシーコントローラーを作成して管理します。詳細は「[ガバナンスおよびリスク](#)」を参照してください。

1.3. コンソールでの検索

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes では、検索機能でクラスター全体のリソースを確認できるようにします。

検索ボックス にテキスト値を入力し、名前や namespace などのプロパティからの値が含まれるリソースを結果として表示します。多数のクラスターを管理している場合に **RedHat** と検索すると、検索結果を受け取るのに時間がかかる場合があります。

検索結果をさらに絞り込むには、検索にプロパティセクターを追加します。プロパティに関連する値を組み合わせ、検索範囲をより正確に指定できます。たとえば、**cluster:dev red** と検索すると、**dev** クラスター内で **"red"** の文字列と一致する結果が返されます。

1. ナビゲーションメニューの **検索** をクリックします。
2. **Search box** に単語を入力すると、検索機能で、対象の値が含まれたリソースを見つけ出します。
 - リソースを検索すると、元の検索結果に関連する他のリソースが表示されるので、リソースがシステム内にある他のリソースとどのように対話するのかを視覚的に確認できます。
 - 検索すると、各クラスターと、検索したリソースが返され、一覧表示されます。**ハブ** クラスターのリソースの場合には、クラスター名は **local-cluster** として表示されます。
 - 検索結果は、**kind** でグループ化され、リソースの **kind** ごとに表でグループ化されます。
 - 検索オプションはクラスターオブジェクトにより異なります。特定のラベルで結果を絞り込むことができます。ラベルのクエリー時の検索は、大文字と小文字が区別されます。以下の名前、namespace、ステータス、その他のリソースフィールドの例を参照してください。自動補完では、補完候補を表示して検索を絞り込むことができます。以下の例を参照してください。
 - **kind:pod** など、フィールド1つを検索すると、すべての Pod リソースが返されます。

- **kind:pod namespace:default** など、複数のフィールドを検索すると、デフォルトの namespace にある Pod が返されます。

注記:

- 空白のスペースを含む値の検索はできません。
- どのユーザーでもリソースの検索はできますが、ロールベースのアクセス制御の割り当てをもとに結果が異なります。また、検索クエリーを保存して他のユーザーと共有する場合に、返される結果は、対象のユーザーのアクセスレベルにより異なります。ロールのアクセス権限の詳細は、[Kubernetes ドキュメント](#) の「Using RBAC Authorization」を参照してください。
- **>, >=, <, <=, !=** などの文字を使用して、条件を指定した検索も可能です。
- 複数の値を含む複数のプロパティセクターを検索すると、クエリーされた値のいずれかを返します。以下の例を参照してください。
 - **kind:pod name:a** と検索すると、**a** という名前の Pod が返されます。
 - **kind:pod name:a,b** と検索すると、**a** または **b** という名前の Pod が返されます。以下の例を参照してください。
 - **kind:pod status:!Running** を検索すると、ステータスが **Running** の Pod リソースすべてが返されます。
 - **kind:pod restarts:>1** を検索すると、最低でも 2 回再起動した全 Pod が返されます。

3. 検索を保存する場合は、**Save disk** アイコンをクリックします。

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの詳細は、[Web コンソール](#) を参照してください。

1.4. VISUAL WEB ターミナル

Visual Web ターミナルは **テクノロジープレビュー** 機能です。Visual Web ターミナルを使用すると、クラスター全体で多くのコマンドを実行できます。コンソールを完全に終了せずにコマンドを実行して、出力を取得します。標準のターミナルでできる操作と同様に、複数のコマンドを実行できます。

Visual Web ターミナルでは、クラスターのリソースデータを返すコマンドは、標準のターミナルで表示されるプレーンテキストではなく、インタラクティブな表形式で視覚的に表示されます。データが表示され、行をクリックすると、そのリソースの詳細が表示されます。

注記:

Visual Web ターミナルに表示される情報は、ユーザーのパーミッションにより限定されます。コマンドを実行すると、表示権限を持つアイテムのみが表示されます。

同時に実行するセッションが 10 個以上ある場合に、コマンドの実行時に応答時間が遅くなる可能性があります。

Visual Web ターミナルは、ハブクラスターコンソールでログイン済みのクラウドに接続されます。

- [セッションの開始](#)
- [サポート対象のコマンド一覧](#)

- [Visual Web ターミナルでの検索](#)

1.4.1. セッションの開始

Visual Web ターミナルにアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. コンソールにログインします。
2. コンソールの **ヘッダー** から **Visual Web ターミナル** アイコンを選択します。
3. 新しいタブで開くか、現在のタブで開くか選択します。
4. 入力フィールドでコマンドの実行を開始します。たとえば、**oc** または **kubectl** コマンドの実行を開始すると、視覚的な出力が返されます。
5. オプション: **getting started** コマンドを選択して、**About** ページなどを表示するか、入力フィールドにコマンドを打ち込みます。
6. オプション: デフォルトの namespace を変更できます。ページの一番下のステータスバーにある **@default** をクリックして、namespace を表示するコマンドを実行します。出力を確認し、表の中から1行クリックして、別の namespace を設定します。
7. **サポート対象のコマンド一覧** を使用して、**kubectl** または **oc** を使用して実行可能なコマンドについて確認します。

1.4.2. サポート対象のコマンド一覧

以下の表は、Visual Web ターミナルがサポートするコマンドタイプの情報と例を示しています。

コマンド	説明	例
!!	1つ前のコマンドを再度実行します。	!!
bash コマンド	以下の基本的な bash コマンドを実行します (base64 , basename , cat , cksum , cp , cut , date , dirname , echo , grep , head , ls , mkdir , mv , printf , readlink , rm , sed , tail , touch , uname , vi , and vim)	mkdir new_directory
cd	ローカルファイルシステムの現在の作業ディレクトリーに移動します。	cd dir_name
clear	以前のコマンドと出力の画面をクリアします。	clear
export	コマンドの出力を外部ファイルにエクスポートします。	export search search_criteria

コマンド	説明	例
helm	サポートされる helm コマンドを実行します。 ヒント: Helm コマンドの情報は、Helm ドキュメントの helm commands トピックを参照してください。	helm list --chart-name
help (getting started のエイリアス)	サイドパネルの Visual Web ターミナルでサポートされているコマンドの追加情報を表示します。	help
history	現行セッションで実行された、以前のコマンドを 25 個表示します。 ヒント: コマンドの最後に検索基準を追加して、検索内容を絞り込むことができます。たとえば、 history help は、文字列 help が含まれる、直前のコマンド 25 個を表示します。	history
kubectl または k	サポート対象の kubectl (または略式 k) コマンドを実行します。 ヒント: kubectl コマンドに関する詳細は、 Kubernetes CLI reference を参照してください。	kubectl get pods
oc	Red Hat OpenShift oc コマンドを実行します。 ヒント: oc コマンドの詳細は、 Red Hat OpenShift CLI Operations を参照してください。	oc get svc
search	指定した検索フィルターとパラメーターに一致する Kubernetes リソースを検索します。	search pod
savedsearches	Search ページで作成して保存した検索内容を表示します。	savedsearches ヒント: savedsearches コマンドの後ろに文字列を指定して、返されるデータを絞り込むことができます。たとえば、 savedsearches projectA では、 projectA の文字列を含む、保存済みの検索が表示されます。

コマンド	説明	例
sleep	セッション中にアクティビティーを一時停止します。 注記: 一時停止する期間 (秒数) を指定する sleepTime パラメーターが必要です。	sleep 20
themes	インターフェースのコントラストテーマオプションを表示します。 light または dark のどちらかを設定できます。	themes

1.4.3. Visual Web ターミナルでの検索

Visual Web ターミナルの検索機能は、すべてのクラスター上にあるリソースを可視化します。

ロールベースのアクセス制御レベルの割り当てをもとにしたリソースのみが検索されます。検索クエリーを保存して他のユーザーと共有する場合には、返される結果は、対象のユーザーのアクセスレベルにより異なります。

1. Visual Web ターミナルセッションを開始します。
2. Visual Web ターミナルのコマンドエントリフィールドに、**search** と入力します。**search** コマンドを実行すると、Visual Web ターミナルにより、検索機能が利用可能かどうかを確認されます。検索機能を利用できない場合には、メッセージで、この機能がインストールされていないか、単に利用できないかが示されます。インストールされていても利用できない場合は、ネットワークの問題の可能性があります。
3. **search** コマンドの後ろにスペースを追加します。検索に使用できるフィルターのリストが表示されます。フィルターの一覧は、お使いの環境やロールパーミッションで利用可能なリソースにより異なるので、空白の場合があります。
4. 一覧からフィルターを1つを選択します。選択したフィルターがコマンドラインの検索条件に追加され、選択内容の次のレベルのフィルターが表示されます。**ヒント:** 一覧からフィルターを選択するのではなく、**search** コマンドの後に文字列を入力することも可能です。
5. オプション: 必要なフィルターがコマンドにすべて含まれるまで、各フィルターエントリーの後に空白を1つ入力して、フィルターを追加していきます。
6. 検索条件を追加し終えたら、**Enter** を押して検索を実行します。

結果を特定のフィールドで絞り込むことができます。以下の例を参照してください。

- **kind:pod** など、フィールド1つを検索すると、すべての Pod リソースが返されます。
- **kind:pod namespace:default** など、複数のフィールドを検索すると、デフォルトの namespace にある Pod が返されます。

また、(>, >=, <, <=, !=) などの文字を使用して、条件を指定した検索も可能です。

以下の例を参照してください。

- **kind:pod status:!Running** を検索すると、ステータスが **Running** ではない Pod リソースすべてが返されます。

- **kind:pod restarts:>1** を検索すると、最低でも 2回再起動した全 Pod が返されます。

検索では、検索要求の条件に合致するリソースと、関連のリソースを表示するリンクが返されます。全リソースを表示すると、リソースが、システム内の他のリソースとどのように対話しているかが視覚的に確認できます。

検索結果は、**kind** でグループ化され、リソースの **kind** ごとに表でグループ化されます。行と列のヘディングを選択して、表の中のデータを整理できます。

コンソールで保存した検索は、**savedsearches** コマンドを入力して、実行する検索を選択すると、使用できます。

1.5. クラスターラベルの管理

クラスターにラベルを追加してグループリソースを選択します。詳細は、[Labels and Selectors](#) を参照してください。

クラスターの新規ラベルの追加、既存ラベルの削除、既存ラベルの編集が可能です。ラベルを管理するには、以下の手順を実行します。

1. ナビゲーションメニューから **Automate infrastructure > Clusters** をクリックします。
2. **Clusters** テーブルでクラスターを探します。
3. 他のオプションを表示するには、**Options** アイコンをクリックします。
4. **Edit labels** をクリックします。
5. **Edit labels** ダイアログボックスで、ラベルを入力します。入力内容は `Key=Value`` のようになります。
6. Enter または space を押して別のラベルを追加します。
7. **Add** をクリックします。Add ボタンをクリックすると、ラベルは保存されます。
8. 完了したら、**Done** をクリックしてラベルの編集ダイアログを閉じます。
 - 既存のラベルを削除するには、リストのラベルの横にある **Remove** アイコンをクリックします。
 - **Remove** アクションを元に戻す場合は、**Remove** をクリックした後に表示される **Deleted** アイコンをクリックします。
 - 既存のラベルを更新する場合は、同じキーに別の値を使用して、新規ラベルを追加すると、新しい値にキーを再割り当てすることができます。

注記: クラスターの詳細ページからクラスターラベルを編集することもできます。ナビゲーションメニューから **Automate infrastructure > Clusters** をクリックします。**Clusters** ビューで、クラスターの名前をクリックしてから、**Actions > Edit labels** の順にクリックし、クラスターの詳細ページにアクセスします。

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの詳細は、[Web コンソール](#) を参照してください。

